

防災学習車

(消防団防災学習・災害活動車両)

<簡易説明資料>

経緯・目的



日本消防協会から交付を受け、消防教育訓練センターに配置

この車両は、消防団員等が防災訓練等への取組を支援するため、平時は地域住民、事業所等の火災・防災出前学習に使用し、災害時には緊急車両として消火・救助資器材等の搬送や現場活動に活用できるものです。なお、当分の間災害活動車両としての運用は実施しません。

申請手順

①岡山市消防団防災学習・災害活動車等運用要綱の確認
・申し込みや利用にあたってのルールを定めたものです。

②予約状況の確認
・消防企画総務課、管轄消防署、分署、出張所、救急ステーションに空き状況を御確認ください。使用可能であれば申請手続きとなります。

③申請手続き
・使用申請書（運用要綱様式第1号）に必要事項を記載、提出してください。
※提出期間は、原則出勤希望日の6か月前から2週間前までとなります。
※派遣分団等があれば記載してください（運用要綱第6条）。
※現場責任者、安全確認担当者等の選定が必要となります。（運用要綱第7条）
※防災学習車等の使用は無償です。（岡山市管轄外の団体等は積載装備品のみ貸出）
※2名以上での運用をお願いします。

④使用承認
・使用承認（不承認）通知書（運用要綱様式第2号）にて、通知します。
※運転、操作する団員等の責任者を指名します。
※主催者は現場責任者、安全確認担当者及び運転、操作する団員等と、事前に取り扱いや安全確認について打ち合わせを実施し、安全管理の徹底を図ってください。

⑤返却
・防災学習車等の使用状況を確認後、使用状況表（運用要綱様式第3号）を添えて返却してください。

手続き詳細は、「岡山市消防団防災学習・災害活動車等運用要綱」を参照。

積載装備品

No.	品名	規格	数量
1	消火訓練機器	FIRE TRAINER M (LPG使用)	1式
2	天ぷら油火災実験装置		1式
3	訓練用水消火器	はやわざくん YTS-3	10本
4	消火訓練用標的 (大)		1個
5	消火訓練用標的 (小)		3個
6	煙体験ハウス	組立式・スモークマシン	1式
7	AEDトレーナーセット	訓練用AED・簡易人形	2組
8	携帯拡声器		2個
9	シアタープロジェクター		1台
10	シアタースクリーン	80インチ	1台
11	DVDプレーヤー		1台
12	折り畳みテーブル	アルミ製	1台
13	発動発電機	900ワット	1個
14	コードリール	30メートル	1個
15	DVDソフト	火災予防啓発用	3枚

積載状況

ラックはベルトでしっかり固定。

ラックの車輪はロックをかけておく。



キャビン内に消火訓練機器を積載



後方ハッチオープン時



荷下ろしのリフター使用时、電源を「ON」にする。

リフターの状況



荷下ろし時、折り返し部分を転落防止のため、上げておく。
(写真は下している状態)

荷下ろしの状況



ラック積載状況



ラック積載状況



水消火器の的
(倒れない版)



煙体験の設定方法



足（6本）を広げ、足を延ばす（高さ調整）。

煙体験の設定方法



周囲の幕を取り付ける。マジックテープが外側。
煙体験ハウスの出入口と側面は、ガムテープで印をしている。



側面の窓は外から開けられるように外側。

スモークマシン



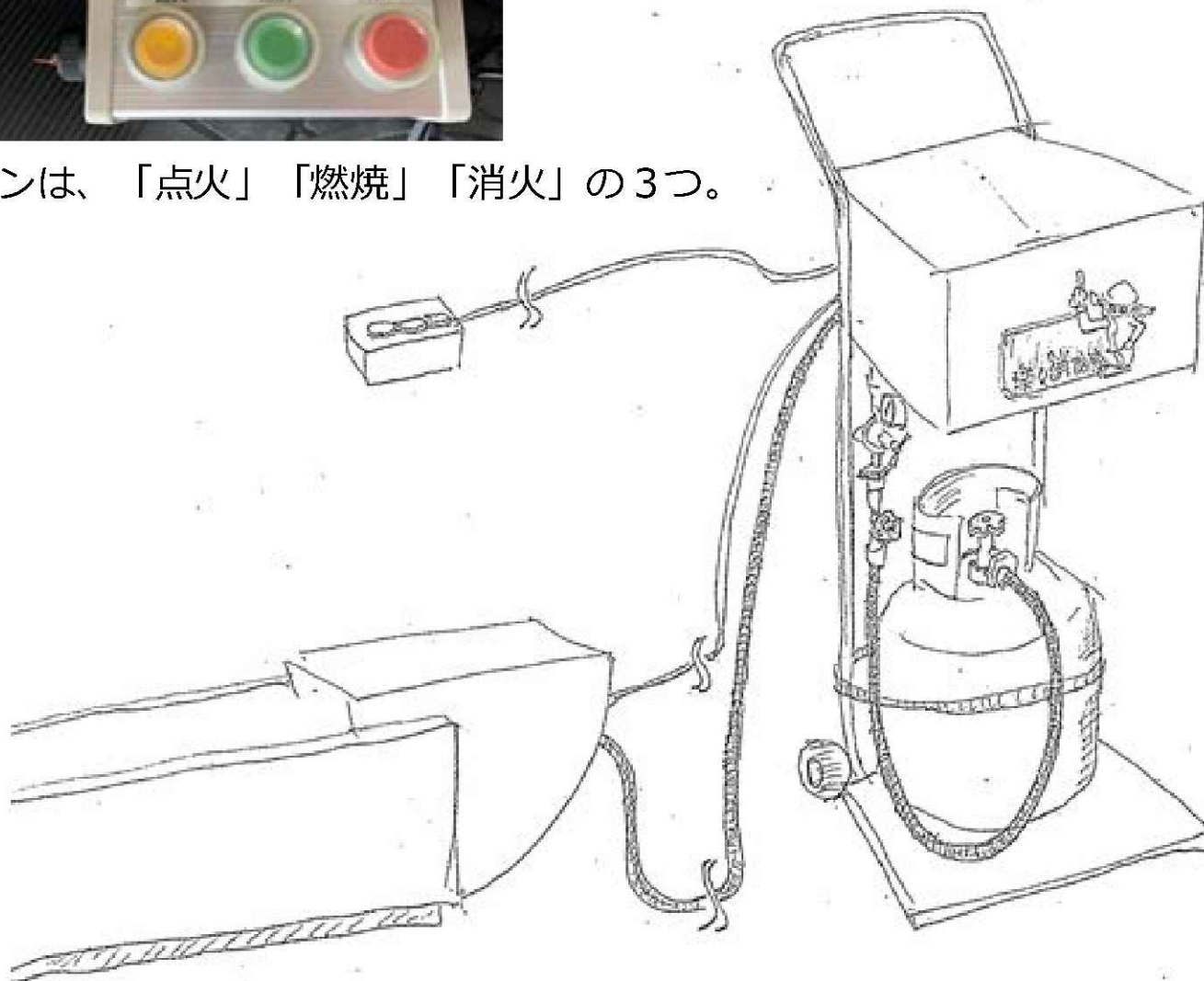
予備あり



消火訓練機器 (LPG) のイメージ



ボタンは、「点火」「燃焼」「消火」の3つ。



LPGボンベ側の状況



後部のケーブル等の接続状況



電源ケーブルは赤・黄色を合わせて、
・スイッチ側（黄色）
・貯め枡側（赤色）に接続。

乾電池在中。

ガスケーブルは貯め枡側に接続。



消火訓練機器（LPG）の燃焼状況



天ぷら火災実験



アルコールランプを使用して、少量のサラダ油を熱して、火災実験を行うもの。



天ぷら火災実験



アルコールランプ（背面）
・芯をしっかりと出した方がよい。



結構時間がかかります。

※着火後の消火やふき取りのため、濡れ雑巾を持参する必要あり。